

制服と私服 併用OKに

9月から、過去2校で導入の校長提案

「自由な空気生み出したい」



胸元の赤いリボンが特徴の制服に身を包む甲子園学院中学・高校の生徒たち。
9月からは私服もOKになる＝西宮市瓦林町

甲子園学院中学・高校

西宮市の女子校、甲子園学院中学・高校（瓦林町）が、9月から制服と私服の併用を始める。生徒が自ら考え、選ぶ力を育むとともにLGBTQ+（性的少数者）への配慮もある。創立85年目で初めての試みに、同校は「私服の導入は学校に自由な空気を生み出す」と期待を寄せる。

（堀内達成）

西宮

同校は学校法人「甲子園学院」（久米知子理事長）が運営。幼稚園と小学校、大学などの関連施設もある。

川崎校長によると、2校では、生徒や保護者から「放課後に予定があっても着替える必要がない」「クリーニングに出しやすくなり、清潔な制服が維持できる」

る。

制服と私服の併用は、今年赴任した川崎芳徳校長（64）が提案。過去に県立須磨友が丘高（神戸市須磨区）と、中高一貫の県立菅屋国際中等教育学校（菅屋市）にいた際に導入した経験がある。

と好評だったという。赴任してすぐに理事長に相談すると、コーディネートや着こなしを学ぶ機会にもなると快諾を得たという。

同校の制服は、赤いリボンやダブルのプリーザーが特徴で、デザイン的にスポンが似合わないため、スカートしかない。LGBTQ+や自転車通学への配慮不足が課題だった。須磨友が丘高校では併用後、入学希望者が増えたといい、学校のイメージアップにも期待を寄せる。

ただ、私服通学が可能になっても、入学式などの式典やテストの時は制服を着用する。導入に際し「似つかわしくない服装にならないか」「学校の風紀が乱れる」と懸念する声もあったが、川崎校長は「2校の経験では、制服とうまく使い分けていた。心配ない」とする。

同学院中高の高校3年の中西隼さん（17）は「体調や気候に合わせて、細かく服装を調整できるのがうれしい」。同3年の深田瑞稀さん（17）は「バイトなど放課後の予定に合わせているのが良い」と歓迎していた。